

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	2022 信州宮田村「中央アルプス山ぶどうの里」ワインまつり
事業主体 (連絡先)	中央アルプス「山ぶどうの里」づくり推進会議 事務局：宮田村役場産業振興推進室農政係
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 (イ 農業の振興と農山村づくり)
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,633,754 円 (うち支援金：602,000 円)

事業内容

宮田村を代表する特産品「信州みやだワイン紫輝」によるワインまつりを開催し、宮田村の魅力が村内外に発信、並びに、宮田村のワイン文化の推進、街中活性化を目的に実施。

2022年10月29日(土)

開会 13:00 終了 15:45

駅前広場周辺及び協賛店舗(5店舗)を会場とし、完全前売りチケット制で参加者数を限定し実施。

参加者 288名



【参加者の様子】

【目標・ねらい】

- ①宮田村並びに特産品のPR
- ②宮田産ワイン、関連製品のPR
- ③宮田村のワイン文化の推進
- ④街中の活性化

事業効果

①②参加者数を限定し実施したにも拘らず、村内外からの参加があった。

「紫輝」と「紫輝樽熟成」の年代別飲み比べや、ふるさと納税返礼品で大人気となり現在完売中のビール「ヤマソーホップ」、果汁100%無添加の「山ぶどうジュース」と、宮田村の魅力を味わって頂く一時を提供できた。

③宮田村のワインを口にしていただく事により、宮田村のワインとその歴史について知っていただくきっかけが提供できた。

④駅前ひろば及び飲食店を会場に実施出来たことにより、村外の方に対しては村内のお店を知り、足を運んでいただくきっかけとなった。希薄となっていた人とのコミュニケーションづくりのきっかけとなり、まつり当日は、まつり終了後も村内の飲食店へ足を運ぶお客さんで溢れかえり、閉店までまちなかが賑わっていた。

※自己評価【B】

【理由】

コロナ禍のため、人数制限をしながらの開催となったが、初めての屋外会場でのワインまつりが街中で開催することができ、村内活性化につながった。

今後の取り組み

今後、宮田村のまちなかツアーや他団体のイベント、街中活性化組織と協力・参画を促しながら、JR宮田駅前周辺会場にとどまらず、年々場所を変えてローテーションさせながら実施をし、更なる宮田村のPR、宮田ワイン文化・山ぶどう栽培の推進、村内活性化に繋げて行く。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある